



真っ白い花がきれいなアマミフユイチゴ  
116日、奄美大島の湯湾岳

# 奄美の希少種 愛らしく共演

梅雨の晴れ間が広がる奄美大島で、希少な草花が咲いている。大和村と宇検村にまたがり、奄美群島最高峰の湯湾岳(694㍎)では、固有種や絶滅危惧種が愛らしい姿を見せている。



絶滅危惧種のミヤヒカンアオイ、中央の茶色がかく片116日、奄美大島の湯湾岳



白に淡い紫色が入るヤクシマスミレの花  
116日、奄美大島の湯湾岳

## 梅雨の晴れ間 湯湾岳

山頂付近では奄美大島と徳之島の固有種・アマミフユイチゴの白い花が、緑色の森の中に映えていた。夏には赤い実になる。  
しまいそうな小さな花を咲かせるのは、奄美や屋久島に分布するヤクシマスミレ。花の直径は1㍎ほどしかなく、紫の模様がかわいらしい。  
注意しないと見逃して  
奄美大島のみで見られるミヤヒカンアオイは葉の下にひっそりとかく片を付けていた。花びらは、退化して無いのが特徴で環境省レッドリストで絶滅危惧IB類に分類されている。

【問1】 湯湾岳の高さは、何メートルなのでしょう。

【問2】 アマミフユイチゴは、どこどこの固有種なのでしょう。

【問3】 ヤクシマスミレは、どこやどこに分布するのでしょうか。

【問4】 奄美大島のみで見られる中央の写真の植物は何でしょう。

【考えてみよう】 身近な地域の固有種について、調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

奄美(あま・み) 咲(さく) 宇検(う・けん) 最高峰(さい・こう・ほう) = もっとも高い山 湯湾岳(ゆ・わん・だけ) 絶滅危惧種(ぜつ・めつ・き・ぐ・しゆ) = 数がへって、いなくなることが心配される動物や植物 姿(すがた) 映(は)える 見逃(み・のが)す 分布(ぶんぷ) = ものがどのように広がっているかを表す言葉 紫(むらさき) 模様(も・よう) かく片(へん) = 花の外側にある葉のような形を、たもの退化(たい・か) = 進化が止まって、後もどりすること 特徴(とく・ちょう) = ほかとくらべて目立ったり、役立っている点

